

日豊海岸シーニック・バイウェイ (蒲江・北浦大漁海道)

蒲江・北浦大漁海道 だより

Since 2010.2

URL: <http://nippou-kaigan.kirara.st/>

今月のシーニック・バイウェイ

謹賀新年



鶴御埼灯台の日の出(佐伯市鶴見)

九州で最初に日の出を見ようと元旦には多くの人々で賑わう鶴御埼灯台。写真は、昨年度「さいきサンライズ・フォトコンテスト2017」で最優秀賞を受賞した作品です。燦々とふいそそぐ朝日の中、皆さまの一年が朝日のように光輝くことを願っています。

撮影者: 山中 秀樹 様

地域資源（宝）の紹介コーナー



地域で活動する人



◆清水 重春(シミス シゲハル)さん

3年前に定年退職を迎え実家のある蒲江に帰郷した清水さん。定年後は地元で農業を職業にしようと退職後に大分県立農業大学校で野菜栽培の研修を受け実家の耕作放棄された畑で野菜や果物の栽培を始めました。

他の人があまり栽培していない葉物野菜である空芯菜(クウシンサイ)、水前寺菜(スイゼンジナ)、ナスのヒゴムラサキや、米、ワサビ、パパイア、サトウキビ、養蜂と幅広く農業に取り組まれています。日頃の成果が実り、昨年より地元の”道の駅かまえ”や”かまえインターパーク”などに野菜と果物の出荷を始めています。

座右の銘は、「今を生きる。今を動く。今を楽しむ。」と、ライトブラウンヘアーをチロリアンハットで覆ったオシャレな姿で農作業する清水さんです。趣味は、農作業の合間を見つけて巡る九州内の祭り見物と温泉と農産物直売所訪問だそうで3つを同時に楽しむそうです。また、昨年熊本地震や今年九州北部豪雨災害などの災害ボランティアにも参加し、被災した方々の支援活動にも取り組まれています。

今後の抱負:「今年は台風の海水の吹き上げによる塩害で野菜が大きな被害を受けましたが、来年以降は耕作面積を広げて野菜栽培を充実させていきたい。地道ではあるが日々の農作業を通じて農業人として地域に貢献していきたい。」と、穏やかな口調の中にも情熱的に語っていただきました。



清水 重春さん



歴史・文化資源



◆梶谷本家の止々庵塔(佐伯市蒲江) 蒲江ICから車で20分

梶谷宗忍の俗姓は梶谷和吉。大正3年(1914)7月8日、西野浦に生まれました。昭和51年6月には、京都五山の一つである臨濟宗相国寺派の第六代管長に就任。管長時代の昭和59年5月に銀閣寺の住職、60年9月には金閣寺の住職を兼任。

日本の仏教界を代表する高層として海外からの評価も高く、平成8年1月には一周忌を迎えるにあたり相国寺から分骨して生家のある西野浦にお墓が建立されました。

昭和56年に中国を訪れた際、玄奘三蔵法師(ケンジョウサンゾウホウシ)ゆかりの寺を参拝されるにあたり、三蔵法師を讃えて詠われた詩の詩碑「讚玄奘三蔵法師」がたかひら展望公園にあります。(旧蒲江町史より)



梶谷本家の止々庵塔



食



◆のっけ放題海鮮丼

"道の駅北浦"のレストラン「海鮮館」では、お好みの食材を好きなだけ盛りつけることができる「のっけ放題海鮮丼」を提供しています。

食材は北浦産の“へべすぶり”をはじめ、サバやウルメイワシ、アジ、タコ、イカ、シラスが用意されています。また、味噌汁か魚のあら汁のいずれかの汁物も付きます。12月29日(金)までの期間限定で、平日のランチタイム(11:00～14:30)のみの提供となっております。この機会に是非、北浦の新鮮な魚を好きなだけお召し上がり下さい。



報 告

◆「北浦臨海パーク 秋の大感謝祭2017」開催！

11月3日(金)～5日(日)にかけて、北浦臨海パーク盛上げ隊(林伸典代表)による「秋の大感謝祭2017」が開催されました。期間中は、県内外から多くのお客様が来場し、“釣り体験”、“魚のつかみ取り”、“輪投げ大会”などを楽しんでいました。また、“すり身鍋の振る舞い”は大人気で開始前から行列ができていました。

期間中、大変な賑わいイベントとなり、県内外に北浦の“海の幸”“山の幸”をPRでき、地域の賑わいづくりにも寄与できたものとなりました。



釣り体験の様子

◆日豊海岸シーニック・バイウェイ合同行政連絡会開催！

11月16日(木)にたかひら展望公園で日豊海岸シーニック・バイウェイ活動のさらなる発展のため、合同行政担当者(両県の国、県、市)による地域資源についての勉強会を開催しました。橋本会長の講話、おばちゃんバイキングの昼食の後に現地見学会としてたかひら展望公園ののじぎく(野路菊)、かまえのゴーイングメリ一号である盛漁丸などの見学を行いました。

参加者一同、地域資源の豊かさと魅力を再発見し、今後地域のPR・連携を促進することで一致しました。



橋本会長の講話



盛漁丸に乗船見学

お知らせ

◆サンライズウォークで新年を！

恒例のサンライズウォークが今年も行われます。1月1日朝5時50分、米水津色利浦の海風館（シーフーかん）前をスタートして、米水津湾を眼下に、約4kmの豊後くろしおラインを歩いて空の公園を目指します。公園で初日の出を拝み、紙風船を大空へ放ちます。

詳しくはHP”佐伯市観光大百科”で！

◆問い合わせ先：米水津振興局
TEL 0972-35-6111

雲海から差し込む光



願いよとどけ

◆第4回さいきサンライズ・フォトコンテスト2018 写真募集！

九州最東端のまち「佐伯」ならではの「サンライズ」写真を募集します。九州で一番最初に日が昇るまち「佐伯」の輝きを現した写真をふるってご応募下さい。撮影期間：2018年1月1日～1月31日

応募締切：2018年2月5日まで

詳しくはHP”佐伯市観光大百科”で！

◆問い合わせ先：佐伯市観光案内所
TEL 0972-23-3400



2017優秀賞受賞3作品

お知らせ

◆日本風景街道大学が開催されます◆

平成30年1月5日（金）、6日（土）、7日（日）

宮崎大学創立330記念交流会館（宮崎市学園木花台1丁目1番地）

※詳しくは、日南きらめきラインのホームページをご覧ください。

<http://www.kirameki-line.com/>

募集中



平成29年度
日本風景街道大学
平成30年1月5日（金）～1月6日（土）
エクスポーション1月7日（日）
●テーマ
地域の方へはぐみ伝える
未来にむけて 私たちは、どういく？

シーニック・バイウェイとは：

アメリカが発祥で景観のよい（シーニック）、寄り道（バイウェイ）と言う意味です。日本では、風景街道と訳され、道を通して地域活性化や観光振興に取り組んでいる138のルートがあり、九州には14のルートがあります。

本誌では、九州風景街道の一つ「日豊海岸シーニック・バイウェイ（蒲江・北浦大漁海道）」の活動や旬の地域資源等について、地域の皆さんや道路利用者の方々にご紹介するものです。



◆ 日豊海岸シーニック・バイウェイ（蒲江・北浦大漁海道）のホームページ ◆

URL：<http://nippou-kaigan.kirara.st/>

旬の情報を毎月発信中 皆様からの情報提供をお待ちしております。

問い合わせ先



日豊海岸シーニック・バイウェイ研究会

〒876-0848 大分県佐伯市城下東町8-19（佐伯市観光協会内）

tel 0972-23-1101 fax 0972-23-1146

（行政側問い合わせ先）

佐伯河川国道事務所 工務課
tel 0972-22-1880 fax 0972-23-2726

延岡河川国道事務所 調査第二課
tel 0982-31-1155 fax 0982-22-0489